

各委員会審査報告

総務文教常任委員会報告

引き続き財政の改善を！



委員長 魚谷 洋一

付託された議案は、いずれも認定すべきものと決定。委員会よりの質疑に対し、答弁のうち、主なものについて報告する。

教育委員会関係

学校給食費の滞納が見られるが、収納対策は、との質問に、平成21年度分については、3世帯5人分の14万3,400円。滞納者には、学級懇談会で納入を要請している。滞納者もいくらかずつでも納めており、1～7,8ヶ月分であるとの答弁。学校給食の調理業務を業者委託してからの、給食の味ほか生徒の声や反応は、との質問に、給食材料については、これまでどおり町で購入している。調理業務の委託に伴う味の変化や苦情といったものは聞いていないとの答弁。遠距離生徒の通学費補助金の交付人数等についての質問に、交付人数は、久賀中の交付者20人(三蒲2人、棕野11人、浮島7人)、東和中の交付者2人(浮島2人)との答弁。宮本常一を教育に生かす取り組みを行ったとあるが、その内容は、との質問に、教育力向上ステップアップセミナーに19人の教員が参加した。また、宮本常一が撮影した写真を調べるコンクールでは、小・中学校から67点の応募があった。その他、宮本常一副読本を活用した事例集を発行し活用しているとの答弁。これに対して、周防大島文化交流センターは人づくりや地域づくりを進めるための施設であり、センターの運営協議会を活用することや、地元のいろいろな団体や民間の活用など、連携が大事だと考える。効果的なアレンジをお願いしたいとの提言があった。

総務課関係

前島のヘリポート管理について、漁港用地での利用はできないのか。また、緊急車両の整備は、との質問に、漁港施設内への常設は難しい。しかし、緊急の場合は可能と思われる。緊急車両については、総合計画に計上予定であるとの答弁。住宅用火災警報器の貸

与について、75歳以上の高齢者には無償貸与であるが、取り付けは完了したのか、との質問に、平成21年度の希望者においては、すべて完了しているとの答弁。

財政課関係

財政指標、債務、繰り上げ償還、基金の活用の動きは、との質問に、財政指標に関しては、実質収支比率の標準が、3～5%といわれており、本町では4.6%で、実質収支比率4億6,174万6千円は、標準的な繰越額である。また、経常収支比率、実質公債費比率、将来負担比率も昨年に比べて改善している。地方債は、平成21年度末の地方債残高は、一般会計で約7億9,900万円の減。特別会計を合わせると、10億2,400万円の減。これに公営企業局が大島病院関係で3億400万円増となったことにより、総額では7億2,000万円の減となっている。繰り上げ償還では、利率5%以上の借り入れ分はほぼ償還を終え、これにより約1億7,700万円の利子の軽減を図っている。基金に関しては、財政調整基金の取り崩しは行っていない。減債基金、ちびっ子医療費助成基金等は、各条例の目的に沿った事業を行っているとの答弁。

契約監理課関係

入札に関して、くじ落札や低入札価格による落札が多く見受けられるが、どう考えているのか。また、総合評価の導入などはどうか、との質問に、くじ落札がすべてとは考えていない。評定点については、町には専門職が少なく難しい面がある。しかし、点数をつけるのであれば、その評点を評価に生かす、例えば、災害協定を結んでいる業者等については、点数を加味するという自治体もあり、これらを含めて検討していくとの答弁。

